

千葉県立船橋芝山高等学校 部活動の活動方針

I 教育目標

1 学校教育目標

校訓である「真情・真剣・英知」を体現し、心身ともに健康で、自ら判断し行動できる人間を育成するために、学習指導・生徒指導・進路指導を組織的、効果的に実践して、魅力ある教育活動を展開し、生徒一人ひとりの能力や個性の伸長を図る。

そして、学校生活が楽しく、有意義で、将来の夢の実現に向けて、生徒自ら意欲的に取り組める教育活動を展開する。

2 部活動の目標

生徒の自主性、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養、本校の学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものとする。

II 部活動の基本方針

1 適切な指導

- ① 生徒の心身の健康管理や事故防止に万全を尽くすとともに、体罰やハラスメントを排除した指導を行う。
- ② 科学的トレーニングの積極的な導入等により、合理的でかつ効率的・効果的な指導を行うよう努める。
- ③ スポーツ医学の見地から、適度な休養の必要性やスポーツ障害等のリスクについて正しく理解させる。

2 適切な活動時間

- ① 原則として、平日の練習時間は2時間程度とし、土曜日及び日曜日を含む学校の休業日は3時間程度とする。
- ② 学期中は、週当たり1日以上休養日を設定する。
- ③ 長期休業中は、学期中の休養日の設定に準じた扱いとするが、生徒が十分な休養をとることができるよう、まとまった休養期間を設ける。

3 事故防止

- ① 各生徒の発達段階や体力、技術の習得状況等を把握し、生徒にとって無理のない練習となるよう留意する。

- ② 種目の特性に合わせて練習中や活動中に守るべきルールを定め、全部員に周知するとともに、機会を捉えて繰り返し確認する。
- ③ 学校外での活動や、大会等で学校外の場所へ移動する際の安全指導を、全部員に徹底して行う。
- ④ 施設・設備や用具の日常的な安全の確認や点検を行い、管理には万全を期す。
- ⑤ けが人や病人、不測の事態に備え、校内の緊急体制を整える。
- ⑥ 気温・湿度などの環境条件に配慮した運動実践や、こまめに水分を補給し休憩をとること、生徒への健康観察など健康管理を徹底することで熱中症を防止する。

4 その他

(1) 運営上の留意事項

ア 指導上の配慮

顧問は、生徒自らが意欲をもって取り組むことができるよう、雰囲気づくりや心理面での指導の工夫を行うとともに、生徒の疲労状況や精神状況をしっかりと把握する。また、一部の生徒に負担がかからないようにする。

イ いじめ等の防止

いじめについては、決して行ってはならないという強い認識のもと、学級担任や養護教諭等との連携を含め、様々な角度から生徒の姿を把握するよう努める。

ウ 会計の取扱

物品の購入や大会等への参加費の徴収など金銭に関わることについては、事前に校長の許可を得るとともに、会計報告等を作成することにより保護者への説明責任を果たせるようにする。

(2) 保護者との連携

ア 保護者の理解

必要に応じ保護者会等を開催するだけでなく、機会を捉えて、保護者や地域の意見を聞いたり、顧問の考えを伝える場を設けるなどし、保護者や地域の理解が得られるようにする。

イ 保護者への協力依頼

過度な協力要請にならないよう十分に配慮する。